

# 2011～2012年度 IM第1組報告

豊中RC 会長 北村 公一  
I.M. 実行委員会 委員長 米田 真

テーマ：職場体験学習  
ホスト：豊中ロータリークラブ  
日時：2012年4月21日（土）13:00～17:00  
場所：ホテルアイボリー  
出席者数：114名

2011～2012年度RI第2660地区第1組インターシティー・ミーティングを開催するにあたりまして岡部泰鑑G及び二井清治G補佐のご指導のもと、IM第1組は地区の強調事項であります『職場体験学習』をテーマといたしました。キャリア教育の目的はこれからの社会を背負って行く、あるいは背負って行かねばならない中高生を自主的精神に満ちた心身ともに健康な国民に育て上げることにあります。そしていま何よりも望まれるのは、学校と社会が一体となってキャリア教育を実施し若者の社会観、勤労観、職業観を育む体験学習を行うことであり、その一つが中学生を対象とする職場体験学習であります。

このような北村会長の挨拶にはじまり主宰者であります岡部Gは本日実施されますインターシティー・ミーティングは、地区大会に次ぐ地区の行事です。

近隣のクラブの皆様が一堂に顔を合わせる有意義な会合です。ご参加の皆様におかれましては、是非共、この機会に名刺交換などなさいまして友好の輪を広げ、クラブ活動、そして個人個人の発展に役立てていただければと思いますとご挨拶されフォーラムの開始となり、また教育関係者、生徒、受入れ事業所の9人のパネリストから講演をいただき、そのご意見を参考に第1組8ロータリークラブのロータリアンがテーブルディスカッションを行い、生徒を派遣する学校側・実際に体験学習を行う生徒・受け入れ側となる私たちロータリアンが職場体験学習のあり方と実行支援について考えました。詳細な報告書は後日、皆様にお届けいたします。最後に二井G補佐が職場体験学習は子供たちにとって大変意義のある事業であり継続していくことが望ましいと述べられ、今後は、今一度子供たちにどのような力をつけなければいけないのか再考すると共に、制度として定着させるには如何なる方法があるのか、又、ロータリアンとしての関わり方と支援のあり方についても、更に議論を継続していくことが大切だと述べられ、このフォーラムの講評とされました。

